

## 2018 年 APEC 中小企業大臣会合議長への書簡

2018 年8月6日

パプアニューギニア独立国商工業大臣  
Wera Mori 閣下

拝啓

APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC : APEC Business Advisory Council) を代表し、零細・中小企業 (MSME: micro, small and medium enterprises) に関する主要な提言を提出いたします。MSME はアジア太平洋地域の全企業の 95%超を占め、域内の雇用の 50%超を創出していますが、国際商取引やグローバル・バリューチェーンへの参画は不十分なものととどまっています。今年、南カリフォルニア大学マーシャル経営大学院によって実施された予備調査結果によると、金融、情報、およびネットワークへのアクセス、能力の制約、国境を越えた活動の成功に必要なビジネス技能の欠如といった構造的課題に MSME は直面しており、非関税障壁 (NTB : Non-Tariff Barriers) のような貿易障壁があると、特に大きな影響を受けていることが明らかになりました。同報告書は、女性が経営する MSME は特にこれらの分野にて不利な立場に置かれていると指摘しています。

調査の最終報告書は年末に APEC 首脳に共有されますが、予備調査結果と、前回の中小企業大臣宛の書簡以降に行われた幅広い議論に基づき、国・地域内外の活動において活躍する MSME の成功機会を拡大する以下の提言を、ABAC は優先分野として位置付けました。

### MSME による金融へのアクセス促進

MSME はアジア太平洋地域の経済成長の主たる原動力であり、特に、新興国・地域においては新規雇用の5分の4を創出しています。しかし、60%近くの MSME は金融への十分なアクセスを持たず、そのために成長が妨げられています。金融へのアクセス欠如にはいくつかの要因がありますが、例えば、i) さまざまな種類の担保の受け入れや、非伝統的なデータを活用することによるリスクベースの融資を支える法制度インフラが十分整備されていないこと、ii) 個人破産制度が非効率的で、起業家精神を低下させていること、などが挙げられます。さらに、MSME の能力の制約や対応に不安がある場合は、既存のファイナンスの選択肢があってもそれを利用する試みを妨げています。

デジタル経済の出現と地域統合の進展は、MSME が自らの取引データを活用して金融にアクセスし、グローバル・サプライチェーンに参加する新たな機会をもたらします。しかし、技術進歩に法規制の枠組みが追いついていない状況下では、データ利用の拡大も、貿易・サプライチェーンファイナンスのデジタル化も望めません。

ABAC は、APEC 参加各国・地域に対し、法律、政策、規制、制度のエコシステムの改革に着手し、国際的に合意された必要最低限の基準を満たすとともに、データ・セキュリティの確保とプライバシー保護のための適切な枠組みを提供しつつ、各国・地域内および国境を越えたデータや情報の広範な収集、保管、共有、自由な流れを促すよう要請します。APEC に対しては、国・地域の境界を越えた包摂的かつ革新的な金融サービスを推進するために官民両部門の関係者のための地域レベルのプラットフォームを設け、満たすべき必要最低限の基準を策定し、貿易・サプライチェーンファイナンスのデジタル化を促すべく互いに協力して措置を講じるよう要請します。さらに、債務者と債権者と社会の利害を調整する効率的で無駄のない個人破産制度の構築に取り組むよう要請します。

APEC 参加国・地域には、アジア太平洋金融フォーラム (APFF : Asia-Pacific Financial Forum) が今年策定した「新たな金融サービスデータ・エコシステム構築に向けたロードマップ (Roadmap for a New Financial Services Data Ecosystem)」と「貿易・サプライチェーンファイナンスのデジタル化戦略 (Strategy for the Digitalization of Trade and Supply Chain Finance)」と「効率的な個人破産制度の重要な要素 (Essential Elements of an Effective Personal Insolvency Regime)」を有効利用して、上記の措置を講じていただくようお願いします。

ABAC は、APEC 参加国・地域に金融の連結性向上をもたらすさまざまな選択肢を検討するよう要請します。例えば、i) 金融サービス提供者との新たな関わり方を考案する、ii) MSME が従来利用できなかった資金やサービスを利用できるよう支援する、iii) 銀行口座を持たない人々や銀行を十分利用できていない人々のための機会を切り拓く、iv) 金融市場における構造変化を促し、MSME の発展のために金融包摂を推進することによって金融サービスの民主化を図ることなど、新たな選択肢の検討を要請します。

## 国境を越えた活動とグローバル・バリューチェーンへの参画のための MSME の能力強化

より多くの MSME によるグローバル・バリューチェーンと国際商取引への参画は、APEC 参加国・地域にとって優先事項であるべきですが、MSME がこれを達成するには依然として対処しなくてはならない多くの課題があります。MSME は上記の通り金融だけでなく、情報へのアクセスにおいても構造的な阻害要因に直面しています。MSME は貿易協定下において潜在的な利益を得る可能性がある一方、協定への意識不足や貿易要件についての理解度が低いため、その利益を得られないことが多くあります。また、国境を越えた活動を成功させるために必要なビジネス技能や取引要件を満たす能力の不足、さらには NTB によって特に大きな影響を受けていることもあります。

したがってわれわれは、APEC 中小企業大臣に対し、以下の分野における政策設定と取り組みの優先を要請します。特にデジタルのチャンネルを通じて提供される貿易規則、原産地規則、市場情報などの関連情報に対する MSME のアクセスを改善するための取り組みは、MSME が機会を特定し享受する能力を強化します。同様に、自由貿易協定 (FTA : Free Trade Agreement) の活用による利益をより多くの人々に周知する活動を行うべきです。

また、スキル開発、職業訓練・相談、メンター制度を通じて、また、国際取引展示会など国際

ネットワークへのアクセス向上などを通じた貿易関連の能力構築にも重点を置くべきです。デジタルに関する窓口を一本化するなどの貿易活動を促進する政策や、煩雑な国境での手続きを軽減するためのその他の措置も優先されるべきです。

さらに、われわれは APEC 中小企業大臣に対し、NTB を含む貿易障壁の削減と最終的な撤廃を支持するよう要請します。そのためにわれわれは、NTB の透明性を高め、煩雑性を軽減するよう奨励します。

また現行の国際取引における企業間紛争解決のコスト、煩雑な手続き、および係争期間の長さは、MSME にて対処できる範囲を超えていると認識しています。オンラインでの紛争解決など、アクセスのし易さを改善し、コストを最小限に抑える代替的なアプローチが検討されるべきです。

### デジタル経済と電子商取引市場を通じた MSME グローバル展開の強化

デジタル経済、とりわけ電子商取引とデジタル媒体で提供されるサービスは、貿易における MSME のコスト削減と連結性向上に役立ちます。しかし、このようなプラットフォームやサービスを利用するにあたっては、MSME 特有の障壁が存在するため、APEC 参加国・地域は特段の注意を払う必要があります。

一般的に MSME はこうした利得に対する認識やそれを活用する能力も限られており、適切なインフラの存在と各国・地域レベル、国際レベルの支援政策が成否を大きく左右します。結果として、MSME は規模の大きな企業に比べて生産性や競争力が劣っている場合が多くなります。

われわれは中小企業大臣に、特に遠隔地や障害者など社会的弱者のデジタル経済へのアクセスを向上させるべく、インターネットとデジタル・インフラの開発を推進するよう要請します。また APEC には、ABAC の国境を越えた電子商取引トレーニング (CBET: Cross-Border E-Commerce Training) のような、情報通信技術 (ICT: information and communication technology) 分野の技能を向上させる能力構築プログラムの開発と拡充に引き続き取り組んでいくことを要請します。CBET では現在、オンライン学習プラットフォームも提供しており、2014 年に中国で発足して以降、2015 年から 2017 年にかけてブルネイ、パプアニューギニア、チリ、マレーシア、ペルー、タイでさまざまなセッションが開催され、これまでに1万社を超える MSME が参加してきました。こうしたプログラムを奨励することによって、MSME の電子商取引への対応力育成に向けたオンライン・オフラインでの能力構築の取り組みを促すよう各国・地域に対して要請します。

われわれは、インターネットとデジタル経済に基づくイノベーションとスタートアップ企業を支援し、APEC 参加国・地域が MSME のイノベーションに関連する取り組みについてベストプラクティスを共有するよう促進します。ABAC は、APEC カナダ成長企業ビジネス・パートナーシップ (APEC-Canada Growing Business Partnership) や APEC MSME マーケットプレイス (APEC MSME Market Place) における取り組みのように、APEC 参加国・地域の支援を得ながらプロジェクトの推進に取り組んでいます。

中小企業大臣の皆様にも、「APEC 越境電子商取引円滑化枠組み (APEC Cross-Border E-Commerce Facilitation Framework)」の推進・実施を継続し、電子商取引やデジタル経済の可能性を MSME が最大限実現できるよう支援するため、電子商取引に関する分野横断的課題を特定する際に、ABAC の研究成果の活用を推奨します。そのなかで示された電子決済、国境管理、課税、競争、シェアリング・エコノミー、およびデジタル・セキュリティといった主要課題に関する原則と提言に取り組むための官民協力を奨励します。

## 女性の経済参画強化

われわれは民間部門の代表者として、女性の経済参画を妨げている障壁に対処することがビジネス界の責務であり、より多くの参画は域内のビジネスと経済に良い結果をもたらす、企業の利益、ひいては各国・地域の GDP 成長率に影響を及ぼすものと認識しています。

APEC は、政策立案者やビジネス界のリーダーにさらなる変革力をもたらす重要な機会を提供しています。適切な政策、訓練、教育を実施することで、APEC 参加国・地域は既存の労働力をこれまで以上に活用し、将来の生産性に投資することができます。例えば、科学・技術・工学・数学 (STEM: Science, Technology, Engineering, and Mathematics) 分野の教育を受けた女性を活用できるようになれば、スキル人材の厚みが増します。こうしたプロジェクトは、女性や少女を経済に取り込み、積極的に男女格差の解消に努めることによって APEC 参加国・地域の持続可能な成長を促します。さらに、各組織内で女性の訓練、定着、昇進に取り組む体系的なリーダー育成の仕組みを開発すれば、新たな視点を活かして企業パフォーマンスを向上させ、より効果的な顧客対応を行えるようになります。

女性が経営する MSME の資金調達を妨げている障壁に対処することは、経済的にも社会的にも当該企業を支援することになります。金融サービスをビジネス技能訓練、メンター制度、市場アクセスの改善、ネットワーク活用、デューデリジェンスの支援と組み合わせるとして提供することができれば、女性による MSME の起業が成功しやすくなります。

ABAC は女性の経済的包摂の推進に積極的に取り組んでおり、例えば 2017 年には、女性起業家がデジタル技術を活用して自らの経済的未来を描き、かつ効果的な共有、学習、褒章を通じて起業の夢を実現できるよう、ABAC 女性コネクト・プログラム (ABAC Women Connect Program) を立ち上げました。

ABAC は、活力に満ちた MSME の構築とグローバル市場への進出促進を図るうえで、上記提言が APEC の取り組みを加速させるものであると確信しています。中小企業大臣の皆様がアジア太平洋地域における MSME の発展を促すにあたり、これらの提言をご検討いただけることを期待しています。

敬具

2018 年 ABAC 議長  
David Toua